

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の概要（平成24年度）

基金の名称	畜産高度化支援リース基金（畜産高度化支援リース事業）
法人名	財団法人畜産環境整備機構
基金額（機構補助金等相当額）	45,144百万円（45,144百万円）（平成24年4月1日現在）
基金事業の概要	畜産環境問題に適切に対応するため、畜産経営等に対して、畜産環境整備に必要な施設等を貸し付ける。

2. 見直し結果（平成24年度）

項目	講ずる措置
実施した見直しの概要	今後とも基準に適合するよう事業を実施
基金事業実施時期	新たな貸付は平成25年度まで（リース期間は43年度まで）
次回の見直し時期	平成27年度
基金の保有割合	算出した保有割合は1.0であった。算出に用いた方式及び数値については、以下のとおりである。
基金の保有割合の算出	<p>（算出に用いた方式）</p> $\text{保有割合} = (\text{直近年度末の基金額} + \text{24年度充当額}) \div (\text{貸付残高} + \text{貸付見込額} - \text{回収見込額} + \text{機構への返還見込額} + \text{事業が完了するまでに必要な事業費及び管理費})$ $= (45,144\text{百万円} + 1,600\text{百万円}) \div (38,012\text{百万円} + 7,701\text{百万円} - 15,290\text{百万円} + 9,461\text{百万円} + 3,464\text{百万円})$ <p>（算出に用いた数値）</p> 直近年度末の基金残高：45,144百万円 24年度充当額：1,600百万円 貸付残高：38,012百万円 貸付見込額：7,701百万円 回収見込額：15,290百万円 機構への返還見込額：9,461百万円 事業が完了するまでに必要な事業費及び管理費：3,464百万円
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果	使用見込みの低い基金等の該当の有無 無 — (使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果) —
その他	補助付きリース分の貸付残高は、リース料として回収した後、事業費に充てるものを除き、毎年度機構に返還することとなっている。